

県政報告

広島県議会9月定例会は、9月15日から10月2日までの18日間の日程で開催され、補正予算や条例改正などを審議しました。

《令和5年度9月定例会の概要》

■補正予算額 214億6,500万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による課題に迅速かつ適切に対処するため、国の交付金等を活用し、物価高騰対策を切れ目なく実施します。

また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後も引き続き必要な対策や、G7広島サミットの成果の持続・発展に向けた取組、社会的基盤の強化など、6月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる取組を時機を逃さず実施します。

1 物価高騰等への対応

6,922百万円

(1) 物価高騰による影響の緩和 [3,428百万円]

○ 交通事業者への支援 燃油費高騰の影響が継続して厳しい経営状況が続く交通事業者に対して、引き続き、価格高騰の影響額の一部を支援	102百万円
○ 医療機関・社会福祉施設等への支援 医療機関・社会福祉施設等に対して、原油価格・物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、引き続き、価格高騰の影響額の一部を支援	915百万円
○ 金融機関を活用した資金繰り支援 中小企業等に対して、長期・低利の資金繰り支援の拡充を図るため、金融機関を活用した伴走支援型特別資金の融資枠を増額 《融資枠：6,344億円⇒7,004億円》	[債務] [242百万円] 4,045百万円
○ 地域の実情に応じた中小事業者への支援 電力・ガス・物価高騰等の影響を大きく受けた県内中小事業者に対して、市町が単独で支援事業を行う場合、引き続き、県が事業費の一部を補助	200百万円
○ 肥料価格高騰に対する支援 肥料価格の高騰による農業経営体への影響を緩和するため、引き続き、肥料の購入金額の一部を支援	127百万円
○ 配合飼料価格高騰に対する支援 配合飼料価格の高騰による畜産経営体への影響を緩和するため、引き続き、配合飼料の購入金額の一部を支援	1,382百万円
○ 学校給食用牛乳を供給する酪農経営体への支援 学校給食用牛乳向けの生乳の生産を行う酪農経営体に対し、生産コストの上昇分の一部を支援	40百万円
○ 学校寄宿舎における燃料価格高騰対策 県立・私立学校の寄宿舎における燃料価格高騰に対する負担軽減を図るため、引き続き、価格上昇分を設置者等へ支援	18百万円

○ 指定管理施設における燃料価格高騰対策	93百万円
・ 燃料価格高騰を背景に、指定管理施設において高騰している光熱水費の価格上昇分を増額 【一般会計】	89百万円
【港湾特別整備事業費特別会計】	4百万円
・ マリーナ施設の光熱水費価格上昇分の増額にあたり、一般会計から港湾特別整備事業費特別会計に繰出	2百万円
	[特別会計繰出金]

2 新型コロナウイルス感染症対策への対応[基金積立を除く実質事業費] 824百万円

○ 介護サービス事業所等のサービス提供体制の確保	
・ 新型コロナウイルス感染症の影響による介護サービス事業所等におけるかかり増し経費について継続して支援	800百万円
・ 介護サービス事業所等における感染拡大防止対策等を充実させるため、国からの交付金を「地域医療介護総合確保基金」へ積立	800百万円
	[基金積立]
○ 障害福祉サービス事業所等のサービス提供体制の確保	24百万円
新型コロナウイルス感染症の影響による障害福祉サービス事業所等におけるかかり増し経費について継続して支援	

3 広島サミットの成果の持続・発展 707百万円

○ G7各国における「若者による対話イベント（仮称）」の実施	15百万円
広島への関心を更に高めつつ、地球規模の課題解決に向けた機運向上を図るため、若者をG7各国に派遣し、現地の若者と議論・交流する場を提供	
○ 広島県宿泊促進キャンペーン	420百万円
サミットの開催効果を活かした宿泊需要を確実に取り込み、物価高騰や人手不足等の課題を抱える県内宿泊事業者を支援	
○ サミット効果を活用した県産品の魅力発信	10百万円
サミット開催による広島への注目度の高まりを活かし、広島県内において、県外各地のバイヤーを招へいた県産品商談会を開催し、物価高騰の影響を受けている県産品関連事業者を支援	
○ サミット効果を活用した日本酒海外販路拡大支援	20百万円
広島サミットで注目が高まった県産の日本酒について、フランスを中心とした海外での販路拡大を図ることで、物価高騰の影響を受ける県内事業者（酒蔵）を支援	
○ ポストサミットにおける海外進出支援	13百万円
広島サミットを契機として、インド・ベトナム両国と、経済交流を進め、県内企業の海外進出や高度人材の獲得を支援	
○ 食の魅力の発信	60百万円
広島サミットを契機として、県産農林水産物の販路・消費拡大へ向け、プロモーションを強化	
○ 広島空港の国際航空ネットワークの再構築に向けた支援	170百万円
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う旅客需要の回復傾向を受け、広島空港の国際航空ネットワークの再構築に向けて、航空会社等に対して、必要な経費の一部を支援	

4 社会的基盤の強化

2,545百万円

○ 高度医療・人材育成拠点の整備及び検討		
・ 高度医療・人材育成拠点の整備に向けた設計や土地の取得を進めるとともに、運営主体となる地方独立行政法人の設立や県立広島病院の跡地活用の方向性の実現等に向けた必要な検討を実施	【一般会計】 【病院事業会計】	[債務] [107 百万円] [債務] [19,937 百万円]
		43 百万円
・ 高度医療・人材育成拠点の整備に向けた設計について、 病院事業会計から受託		[債務] [1,767 百万円]
○ 令和5年7月豪雨等災害対応（公共事業）		2,429 百万円
令和5年7月豪雨等により被災した施設の復旧等		
【内訳】		
〔補助災害復旧事業〕		[債務] [280 百万円]
・ 土木施設災害復旧費（道路、河川、砂防施設）		1,482 百万円
・ 農林水産施設災害復旧費（農地・農業用施設）		
〔単独災害復旧事業〕		[債務] [75 百万円]
・ 土木施設災害復旧費（道路、河川、砂防、港湾、漁港施設）		186 百万円
・ 公共施設災害復旧費（自然公園施設）		
〔単独公共事業〕		760 百万円
・ 道路事業 294 百万円（道路施設の修繕等）		
・ 河川事業 374 百万円（河道内の堆積土等撤去、護岸の修繕等）		
・ 砂防事業 92 百万円（砂防施設の修繕等）		
○ 防災・減災対策（公共事業）		74 百万円
令和5年6月に落石により被災した道路法面の復旧や再度災害防止		

5 その他[国への返還金・基金積立・予算減額を除く実質事業費]

1,537百万円

○ サッカースタジアム等の整備		147 百万円
社会情勢により、インフレスライド条項を適用したことによる事業費増について、事業主体の広島市に対して、サッカースタジアム等整備経費の一部を補助		
○ ユニタール広島事務所への支援		25 百万円
中四国地方唯一の国連機関であるユニタール広島事務所の活動及び事務所を維持するため、同事務所の移転に係る経費を支援		
○ G7広島サミット応援寄附金の精算		7 百万円
県において一括して受け付けた寄附金について、広島市に対し、寄附収入額の2分の1を交付		
○ 全国旅行支援に係る超過事業費の負担		192 百万円
令和5年6月まで実施した全国旅行支援「やっぱ広島じゃ割」について、予算額を超過した事業費を負担		
○ かき殻の新たな有効活用法確立へ向けた取組		88 百万円
鳥インフルエンザ等の影響により加工量が減少しているかき殻について、新たな有効活用法の確立へ向け、かき殻を用いた漁場整備を試験的に実施		

○ 県立広島病院の設備更新 老朽化により診療に支障が生じている県立広島病院の血管撮影装置を 更新	209 百万円 【病院事業会計】
○ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の返還 過年度に受け入れた新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等 の国庫支出金に係る精算後の不用額を国へ返還	5,087 百万円
○ 財政調整基金への積立 地方財政法に基づき、令和4年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ 積立	4,800 百万円 [基金積立]
○ 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う予算の減額 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、新型コロナ ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に不用額が生じる見込みの事業 の予算を減額し、物価高騰対策の財源として活用	▲1,759 百万円
○ 国の内示増を踏まえた予算整理（公共事業） 補助公共事業等の国からの内示において当初予算を上回る内示のあつ たものについて予算整理を実施	870 百万円

■条例〔4件〕

【改正】（4件）

- 職員の給与に関する条例及び広島県病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一
部を改正する条例 など

■人事案件〔2件〕

- 広島県教育委員会委員の任命の同意について
- 広島海区漁業調整委員会委員の任命の同意について

■その他の議案〔5件〕

- 工事請負契約の締結について
- 令和4年度広島県歳入歳出決算認定の件【継続審査】
- 令和4年度広島県公営企業決算認定の件【継続審査】

■180条専決処分報告〔3件〕

- 訴えの提起について など

■報告事項〔10件〕

- 広島県基金運用状況報告書 など

■意見書〔3件〕

- 持続性の高いエネルギー価格高騰対策を求める意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める
- 私学助成の充実強化等を求める意見書

■決算特別委員会の設置

- 継続審査となった「令和4年度広島県歳入歳出決算認定の件」「令和4年度広島県公営企業決算
認定の件」を審査するため、決算特別委員会を設置（委員16名）

新サッカースタジアムが いよいよ来年2月オープン

- 広島市中区の中央公園広場に建設されていた新サッカースタジアムが、年内に本体工事が完了し、来年2月に供用を開始する予定です。
- 新スタジアムは、JR新白島駅や広島バスセンターからも近く、県東部からの、鉄道やバスなど公共交通手段によるアクセスが大きく向上します。
- 県議会では、このサッカースタジアムが、「広域からの集客」や「県全体の活性化や中枢拠点性の向上」に繋がる施設となるよう、県に対して広島市と連携して取り組むことを強力に要請してまいりました。
- スタジアム本体については、観客席数 28,520 席、全ての観客席で雨にぬれず観戦できるよう巨大な屋根が設置されました。さらに、国際試合にも対応、ラグビーの試合やイベント等も開催できるなど、集客能力が高く、県内外からたくさんの方が訪れる施設が実現しました。
- また、隣接して整備している広場エリア（来年8月供用開始予定）においても、「365日賑わう公園」の実現に向けて、県内 23 市町の食・自然・文化が体験できるイベントを開催、県内各地への訪問や県内製品の購入のきっかけづくりとなるエリアとなるよう整備を進めております。

【9月12日撮影】

